

創作ダンス体験ワークショップ

市内の教職員と、小学校にダンスの楽しさを届けました!



◆教員対象講座「表現運動・ダンス」

令和7年10月15日 (場所:ロゼシアター大ホール)

◆ロゼおでかけダンス教室

10月16日 (場所:元吉原小学校)



教員トピック講座「表現運動・ダンス」

教職員向けワークショップでは、まず教員経験のある内堀氏が講義を行い、その内容を踏まえて、学校の授業で子どもた

十月に、市内教職員向けの「表現運動・ダンスのトピック講座」と、小学校での「ロゼおでかけダンス教室」を行いました。講師は、八月のワークショップに引き続き、東京を拠点に活動する河内優太郎氏と山田茉琳氏、内堀愛菜氏です。

ロゼシアターでは令和七年度より、様々なテーマや物語を体の動きとおもとして表現する『創作ダンス』の取り組みを始めました。『創作ダンス』は身体能力や、難しいテクニックを必要としない、現代的ダンス※を取り入れたダンスで、小中学校の授業でも取り入れられています。

『創作ダンス』を始めるきっかけとして、まずはその魅力を知ってもらうため、体験ワークショップを行いましたので、レポートをお届けします。

ちが楽しく取り組める動きを体験しました。

現在、小中学校では体育の授業や運動会・体育祭で表現運動や創作ダンスが取り入れられています。

参加した教員からは、「授業づくりのヒントになった」「ダンス表現への理解が深まった」といった感想が寄せられました。

ロゼおでかけダンス教室

小学校で行われたワークショップは、これから表現運動の授業を始めるにあたり、プロのダンサーと一緒にその楽しさに触れてもらうことが目的です。

体育館の広い空間を活かし、子どもたちはのびのびと体を動かして楽しんでいました。プロのダンサーが行ったデモンストレーションでは、子どもたちから「キレイのダンスがすごかった」といった感想や、ワークショップについては、「楽しいダンスをありがとう」「もっとダンスが好きになった」という声を聞くことができました。



現代的ダンス(コンテンポラリーダンス)とは?

現代的ダンス(コンテンポラリーダンス)は、決まった型や技術を競う枠にとらわれず、自由な発想と身体表現を大切にしているダンスです。「コンテンポラリー」は「同時代的」「現代的」という意味を持ち、その時代の空気や社会の感覚を身体で表すことを特徴としています。テーマに合わせて多様な表現ができるため、地域や社会の「今」を作品として描くことができ、オリンピックの開閉会式でも披露されるなど、その独創性と表現力が世界的に注目されています。



現代的ダンスは、富士市ではまだ新しいジャンルであり、多くの方に知ってもらいたいと考えています。

将来的には、自由なアイデアと動きの『創作ダンス』で、「富士市の文化や人々の思い」を表現したいと考えています!